

— 若年用パターン設計の試み —

湖北短大 武藤治子 実践女大家政 飯塚幸子 お茶の水女大家政○猪又美栄子

目的 第1報(基準サイズの設定, 家政誌, 29巻5号, 318~323)において, 20~29歳および30~59歳の年齢群別のワイシャツの基準サイズを設定した。今回はこのうち20~29歳を対象とした若年男子用のパターン設計を試み, 着用実験により, ゆとり量について検討した。

方法 1) 20~29歳の男子200名の計測値(1972~73年に計測)を資料としてパターンを設計した。2) 官能検査法による着用実験を行い, パターンを検討した。胸囲・胸幅・背幅・袖ぐりの深さ・前衿ぐり・後衿ぐり・実験服の素材の7因子についてそれぞれ水準を直交表 L_8 にわりつけて, 被験者・動作の2因子を直交表の外の因子とした。被験者は4名, 動作は5動作である。測定した特性値は, 「袖ぐり」・「胸幅」・「背幅」・「衿ぐり」の4種類である。測定はいずれも5段階の格付けにより行った。解析には累積法を用いた。

結果 1) 今回の実験の範囲では, 動作適合性のすぐれた若年用ワイシャツパターン設計条件は次のとおりであった。胸囲のゆとり…13cm, 胸幅のゆとり…2cm, 背幅のゆとり…6cm, 袖ぐりの深さ…(背肩幅/2)+1cm, 前衿ぐりの深さ…(頸付根囲/6)+1cm, 後衿ぐりの深さ…2.5cm。2) 以上の条件でワイシャツを製作し, 若年男子が着用した場合の寸法適合性について推定したところ, 「袖ぐり」では78.8%, 「胸幅」では75.9%, 「背幅」では85.4%, 「衿ぐり」では71%といずれも高い割合で「ちょうど」と判定されると考えられた。